

needs 商品パッケージデザインを選出する際の根拠づけをしたい

■消費者データを学習した AI がパッケージデザインの印象を瞬時に分析、根拠を持った選出が可能に。

会社名 : 感性 AI 株式会社  
事業内容 : AI の研究開発  
従業員数 : 10 名 (2022 年 4 月 30 日現在)  
所在地 : 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1 電気通信大学内イノベティブ研究棟 (西 11 号館) 405

背景  
・商品パッケージ・パンフレット等のデザイン案を複数の候補から選定する際、明確な根拠を示せていなかった。  
一担当者や決裁者の感覚や勘で決めているため、定量的な評価ができておらず、周囲の納得度が低かった。  
一消費者の嗜好に関する市場調査を行ったうえで決定したいが、調査をする予算や時間の確保が困難。

【お問い合わせ先】  
感性 AI 株式会社 鈴木  
TEL:042-444-6761  
E-mail:info@kansei-ai.com

IoT を活用した課題解決の内容

消費者データを学習した AI が複数のパッケージデザイン案の印象を分析・評価するシステムを開発  
⇒デザインに対する定量的な評価が見える化できるようになった。  
⇒市場調査を実施することなく、瞬時にデザイン案の定量的な比較ができるようにした。

・検討・開発期間 : 非公開  
・開発者 : 感性 AI 株式会社  
・開発コスト : 非公開

課題

<選定基準の定量化>  
デザインを選ぶ際の選定基準が定量化されておらず、選定に時間がかかったり、顧客の好みでないデザインを選んでしまうことがあった。  
<コスト・時間の制約解消>  
客観的な選定根拠を得るための市場調査はコスト (数十万円～) と時間 (数週間～) がかり、簡単には実施できなかった。

解決方法

AI がパッケージデザインの色彩・模様に対する印象を定量的に評価し、好意度や項目ごとの印象を瞬時にグラフ形式で表示

特徴

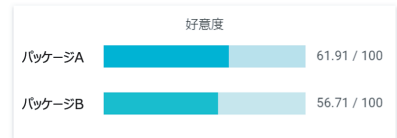


パッケージの「色彩」「模様」に対する好意度と 42尺度印象評価を性別・年代別、商品別に出力

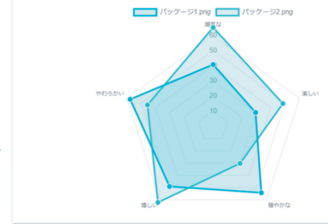
42尺度印象評価



好意度の比較



注目する感性評価項目のスコアは？



検証したい項目を抜粋して、グラフ上で比較することが可能

導入成果

- デザイナーから提案されたパッケージデザイン案から、商品コンセプトに合致しているかを簡単に比較できるようになった。  
⇒顧客に訴求したいコンセプトにあったデザインを効率的に選べるようになり、売り上げ改善に貢献した。
- AI を活用して客観的な選定根拠を得られるようになり、市場調査のコスト・時間を削減することができた。

成功したポイント

- 電気通信大学坂本研究室で長年培ってきたAI※を搭載したこと  
※言葉と五感・感性との関係性に着目し、印象に関する多くのアンケートデータをもとに構築された、応用範囲が広く、信頼性の高い AI
- サブスクリプションサービスで項目ごとの比較が何度でも簡単にできるようになり、コストや時間を気にする必要がなくなったこと

今後の展開予定

- パッケージデザインの印象分析だけでなく、同時展開しているネーミング及びパッケージの印象分析も併せて、AI の学習用データ (アンケート) を収集し、消費者データを反映した評価出力精度の向上を目指す。